

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	2 年	学科	全学科	必選	必履修
教科	国語	科目	言語文化	単位	3 単位
使用教材	大修館書店 新編言語文化				
学習目標	① 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ② 思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 ③ 言葉の持つ歴史的価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力向上を図る態度を養う。				
単元と内容					
1 学期	①言葉の森を育てよう ②ナイン(プリント学習) ③古文への招待 いろは歌 児のそら寝 ④詩歌の調べ(短歌学習)		言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。		
			登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。		
			古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。		
2 学期	⑤ホッチキスストーリー ⑥足し算の文化 ⑦訓読のきまり／格言／再読文字／守株 ⑧祖母が笑うということ ⑨枕草子 春はあけぼの／うつくしきもの ⑩詩歌の調べ(俳句学習)		身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。		
			漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。		
			叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。		
			音読して古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。		
3 学期	⑪羅生門 ⑫蛇足／学問のすすめ ⑬夢十夜		小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。		
			この話で語られている教訓の意義を理解する。		
			読み取ったことをふまえて、自分の経験を振り返り、考えを深める。		
			作品の状況設定を的確にとらえ、叙述から人物の心情や象徴性を読み取る。		
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。			
II	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことができる。他者とのかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			
III	主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ力への認識を深めることができる。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させることができる。我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。			
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		年間時数
	1. 定期テスト及び課題テスト ①各定期テスト(年4回) ②基礎学力テスト ③夏課題テスト 2. 発表 3. 授業時のプリント		1. 定期テスト及び課題テスト ①各定期テスト(年4回) ②基礎学力テスト ③夏課題テスト 2. 発表 3. 授業時のプリント 4. レポートや作文の提出		1. 振り返りプリント
					2. 授業時のプリント
					3. 課題の提出
				予定	
				105 時間	
				実施	
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			